

甲賀市



平成24年度

一般会計 当初予算



～ 市民と共に生み出す『ふるさと進化予算』～

総務部 財政課



KokaCity





平成24年度

甲賀市一般会計 当初予算

・ 予算編成方針	2
・ 当初予算の規模	8
・ 一般会計歳入予算構成	9
・ 市税の内訳	10
・ 一般会計歳出予算構成《目的別》	11
・ 一般会計歳出予算構成《性質別》	12
・ 基金の状況	13
・ 当初予算の推移	14
・ 重点施策・平成24年度の主な事業	17
・ 協働事業	41
・ ゼロ予算事業	42
・ 環境配慮事業	43
・ 甲賀市の「ふるさと納税」について	44



予算編成方針



基本方針

- (1) 総合計画の実現を目指した重点的・戦略的な財源配分
- (2) 東日本大震災後の環境変化への対応
- (3) 財政健全化にむけた着実な取り組み
- (4) 合併特例期間を見据えた計画的な取り組み





予算編成方針

(1) 総合計画の実現を目指した重点的・戦略的な財源配分

総合計画に掲げる将来像「**人 自然 輝きつづける あい甲賀**」の実現のため、市民ニーズや経済情勢等を踏まえ、生涯を通じた人づくりや安全安心な暮らしを目指して5つのテーマに沿った施策を重点施策として位置付け、重点的かつ戦略的に推進

【まちづくりの理念】

- ・ 自然のもたらす大地の恵みが、市民の暮らしに強く結びついているまち
- ・ 地域を担う人が育ち、広域的な交流や活力が生まれているまち
- ・ 互いの人権が尊重され、生活の安心感や生きがいをみんなで高めているまち

(2) 東日本大震災後の環境変化への対応

想定をはるかに超えた災害であり、これまでの安全性に対する考え方に大きな転換をもたらした東日本大震災を踏まえ、本市の災害対策を根底から見直すという認識のもと、将来を見据えた防災・減災対策を早急に確立



予算編成方針

(3) 財政健全化にむけた着実な取り組み

- ① 持続可能で安定した財政基盤の確立にむけた「第2次甲賀市行政改革大綱」の改革の視点に基づく行財政改革の着実な実行
- ② 「税・料金等収納向上対策強化三箇年計画・チャレンジ25プラン」に基づく市税や各種料金の滞納解消策の実行と未利用地の売却・有効活用などによる財源の確保
- ③ 将来世代の負担を軽減するため、基礎的財政収支(プライマリーバランス)の黒字化を継続
 - ・将来世代へ負担を先送りせず、財政の中長期的な持続可能性を保つため市債の新規発行を抑制
 - 市債の元利償還 4,302,800千円
 - 市債の新規発行額 4,196,100千円 (うち臨時財政対策債 1,520,000千円)
 - ・市債残高の推移
 - 平成18年度末 43,913,651千円⇒平成24年度末 36,965,373千円(6,948,278千円の減)

※プライマリーバランス:市債以外の歳入で、市債の元利償還金を除いた歳出をまかなえるかどうかを示す基礎的財政収支のことで、これがプラスであれば財政の中長期的な持続可能性を保つことができるとされています。

※臨時財政対策債 :本来、地方交付税として交付されるべきものですが、地方交付税の財源が不足していることから地方が国に代わって借金しているものです。後年度の元利償還金は全額地方交付税でカバーされます。



予算編成方針

(4) 合併特例期間を見据えた計画的な取り組み

「合併特例債」の発行が可能であり、「普通交付税の合併算定替」が適用される合併特例期間の終了後も持続可能な財政運営にむけて、その期限を見据えた計画的な事業の実施



「合併特例債」とは？

合併特例債は、合併した市に限って認められる地方債で、合併後の市の振興や旧町間の格差をなくすための事業に活用できます。他の地方債と違い、事業費の95%を借り入れることができ、借入金を毎年度分割して返済する際、利息を含めた返済金の7割が国からの地方交付税でカバーされるという大変有利な制度です。

しかしいつまでも活用できるものではなく、現在のところ、甲賀市では平成26年度で使えなくなってしまいます。そのため、合併特例債を活用できる期間を見据えながら、防災・減災対策など市の将来のために有効に活用していく必要があります。

これからも、後々の財政のやりくりも考えながら有利な借り入れを最大限に活用して、将来に渡って住みよいまちづくりに知恵を絞りながら取り組んでいきます。



「普通交付税の合併算定替」とは？

合併後でも、合併がなかったものと仮定して、合併前の旧町ごとに算定した普通交付税の合算額を保障し、合併による普通交付税の不利益を被ることがないようにされた制度です。甲賀市は平成26年度まで続き、平成27年度以降の5年間で段階的に終了します。この間に毎年約5億円ずつ減少することが見込まれます。



予算編成方針

5つの重点テーマ

①大震災を教訓に、未来へ贈る安心と夢ある暮らし

- ・ まちづくり(公共施設の耐震化、安全な道路の整備、土砂災害対策の推進など)
- ・ 人づくり(自主防災組織の育成強化など)
- ・ システムづくり(情報伝達・収集体制の充実など)

②すべての世代、みんなで育むきずなと元気

- ・ 人権尊重の総合的な取り組みと高齢者・障がい者等の自立支援
- ・ 子育て支援体制と保育の充実
- ・ 幼稚園、小中学校等における教育環境や教育振興の充実
- ・ 生涯を通して健やかに暮らせる健康づくり支援

③心をつなぎ、みんなで高める地域愛

- ・ コミュニティ活動への支援強化とネットワーク化の促進
- ・ 市民による創意工夫のまちづくりのための協働の仕組み・体制づくり

④甲賀発、匠の技と大地の恵み

- ・ 地産地消の推進と甲賀ブランドの確立
- ・ 地域の持つ資源の有効活用と連携による地域産業の活性化
- ・ 農山村環境の保全と鳥獣害対策の推進

⑤歴史と自然でおもてなし、みんなで磨く甲賀の宝

- ・ 高速道路等を活用した観光戦略の推進
- ・ 鉄道等の公共交通機関を活用した賑わいづくり
- ・ 自然環境と共生した心豊かなまちづくり



予算編成方針



その他の取り組み

(1) 「協働事業」の推進

市民協働事業提案制度によって採択された事業については、従来の枠配分予算とは区別して優先的に予算化して推進する。

(2) 「ゼロ予算事業」の推進

特別な予算措置をすることなく、職員一人ひとりの積極的な創意工夫のもとで、技術・知識、資産、情報の最大限の活用や市民との協働・連携により、行政サービスの向上につながる取り組みを一層推進する。

(3) 「環境配慮枠」の設定による地球温暖化対策の推進

節電対策や省エネルギー化への取り組みによって地球温暖化対策の一層の推進を図るため昨年度に引き続き「環境配慮枠」を設定し、推進する。



当初予算の規模

(単位:千円・%)

会計名		年度	24年度	23年度	比較	伸率
			A	B	A-B=C	C/B
一 般 会 計			34,700,000	34,600,000	100,000	0.3
特 別 会 計	国民健康保険		8,368,000	8,154,000	214,000	2.6
	後期高齢者医療		1,623,000	1,501,000	122,000	8.1
	介護保険		5,161,000	4,716,000	445,000	9.4
	公共下水道事業		3,055,000	3,332,000	△ 277,000	△ 8.3
	農業集落排水事業		882,000	733,000	149,000	20.3
	土地取得事業		3,525	3,790	△ 265	△ 7.0
	野洲川基幹水利施設管理事業		20,416	21,200	△ 784	△ 3.7
	鉄道経営安定対策基金		20,773	20,952	△ 179	△ 0.9
	鉄道施設整備基金		7,400	14,071	△ 6,671	△ 47.4
	国民健康保険診療所		0	484,300	△ 484,300	皆減
	浄化槽管理事業		259,000	183,000	76,000	41.5
	介護老人保健施設事業		0	392,900	△ 392,900	皆減
	小 計			19,400,114	19,556,213	△ 156,099
企 業 会 計	病院事業		930,571	936,045	△ 5,474	△ 0.6
	水道事業		4,292,645	3,884,082	408,563	10.5
	診療所事業		221,293	0	221,293	皆増
	介護老人保健施設事業		331,552	0	331,552	皆増
	小 計			5,776,061	4,820,127	955,934
合 計			59,876,175	58,976,340	899,835	1.5

※ 企業会計の予算額は、「収益的支出」と「資本的支出」の合算とする。



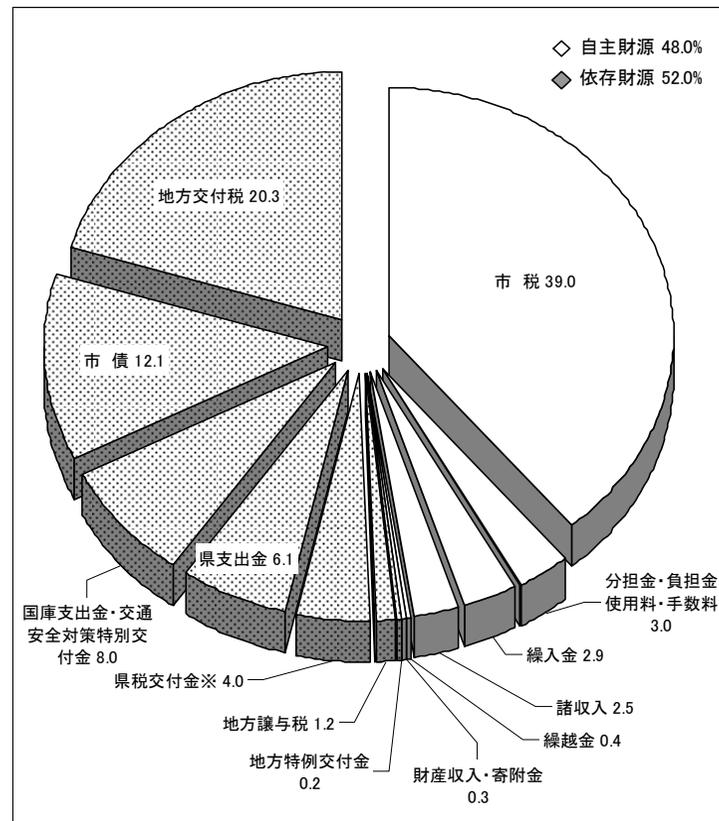
一般会計歳入予算構成

(単位:千円・%)

区 分	24年度		23年度	比較 A-B=C	伸率 C/B
	A	構成比			
◇ 市税	13,518,171	39.0	12,639,969	878,202	6.9
◆ 地方譲与税	420,000	1.2	360,000	60,000	16.7
◆ 利子割交付金	25,000	0.1	30,000	△ 5,000	△ 16.7
◆ 配当割交付金	18,000	0.0	11,000	7,000	63.6
◆ 株式等譲渡所得割交付金	4,000	0.0	7,400	△ 3,400	△ 45.9
◆ 地方消費税交付金	800,000	2.3	800,000	0	0.0
◆ ゴルフ場利用税交付金	420,000	1.2	420,000	0	0.0
◆ 自動車取得税交付金	128,000	0.4	100,000	28,000	28.0
◆ 地方特例交付金	63,000	0.2	179,000	△ 116,000	△ 64.8
◆ 地方交付税	7,050,000	20.3	6,550,000	500,000	7.6
◆ 交通安全対策特別交付金	12,500	0.0	13,000	△ 500	△ 3.8
◇ 分担金及び負担金	586,644	1.7	582,821	3,823	0.7
◇ 使用料及び手数料	438,153	1.3	454,801	△ 16,648	△ 3.7
◆ 国庫支出金	2,780,589	8.0	3,946,326	△ 1,165,737	△ 29.5
◆ 県支出金	2,118,543	6.1	2,522,188	△ 403,645	△ 16.0
◇ 財産収入	93,262	0.3	78,246	15,016	19.2
◇ 寄附金	10	0.0	52,510	△ 52,500	△ 100.0
◇ 繰入金	994,868	2.9	1,496,488	△ 501,620	△ 33.5
◇ 繰越金	150,000	0.4	150,000	0	0.0
◇ 諸収入	883,160	2.5	867,451	15,709	1.8
◆ 市債	4,196,100	12.1	3,338,800	857,300	25.7
歳入合計	34,700,000	100.0	34,600,000	100,000	0.3

◇ 自主財源	16,664,268	48.0	16,322,286	341,982	2.1
◆ 依存財源	18,035,732	52.0	18,277,714	△ 241,982	△ 1.3

(単位: %)



※ 県税交付金は利子割交付金から自動車取得税交付金までの合計



市税の内訳

(単位:千円・%)

区 分	年 度		比較 A-B=C	伸率 C/B
	24年度 A	23年度 B		
市民税	5,637,500	4,718,000	919,500	19.5
個人	4,136,000	3,667,000	469,000	12.8
現年度分	4,070,000	3,600,000	470,000	13.1
過年度分	66,000	67,000	△ 1,000	△ 1.5
法人	1,501,500	1,051,000	450,500	42.9
現年度分	1,500,000	1,050,000	450,000	42.9
過年度分	1,500	1,000	500	50.0
固定資産税	7,051,171	7,181,969	△ 130,798	△ 1.8
固定資産税	7,043,000	7,176,000	△ 133,000	△ 1.9
現年度分	6,970,000	7,100,000	△ 130,000	△ 1.8
過年度分	73,000	76,000	△ 3,000	△ 3.9
国有資産等所在市町村交付金	8,171	5,969	2,202	36.9
軽自動車税	213,500	203,000	10,500	5.2
現年度分	210,000	200,000	10,000	5.0
過年度分	3,500	3,000	500	16.7
市たばこ税	600,000	520,000	80,000	15.4
鉱産税	1,000	1,000	0	0.0
入湯税	15,000	16,000	△ 1,000	△ 6.3
合 計	13,518,171	12,639,969	878,202	6.9

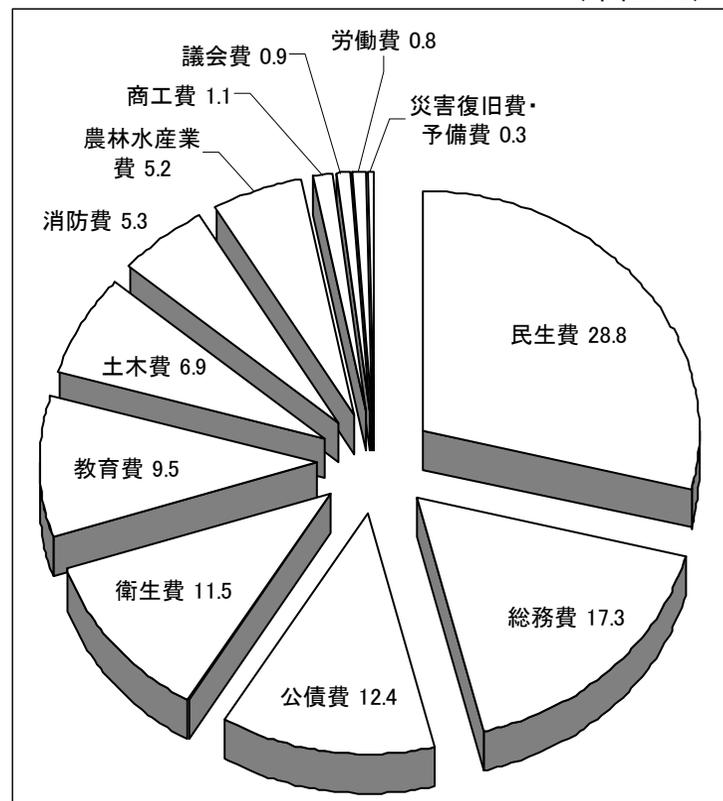


一般会計歳出予算構成《目的別》

(単位: 千円・%)

区分	24年度		23年度	比較 A-B=C	伸率 C/B
	A	構成比			
議会費	298,271	0.9	323,469	△ 25,198	△ 7.8
総務費	6,007,344	17.3	6,013,340	△ 5,996	△ 0.1
民生費	10,007,450	28.8	10,655,737	△ 648,287	△ 6.1
衛生費	3,978,281	11.5	3,764,020	214,261	5.7
労働費	271,667	0.8	390,939	△ 119,272	△ 30.5
農林水産業費	1,792,069	5.2	1,451,440	340,629	23.5
商工費	396,608	1.1	292,162	104,446	35.7
土木費	2,387,027	6.9	2,193,290	193,737	8.8
消防費	1,840,417	5.3	1,493,554	346,863	23.2
教育費	3,315,262	9.5	3,512,957	△ 197,695	△ 5.6
災害復旧費	4	0.0	4	0	0.0
公債費	4,305,600	12.4	4,409,088	△ 103,488	△ 2.3
予備費	100,000	0.3	100,000	0	0.0
歳出合計	34,700,000	100.0	34,600,000	100,000	0.3

(単位: %)





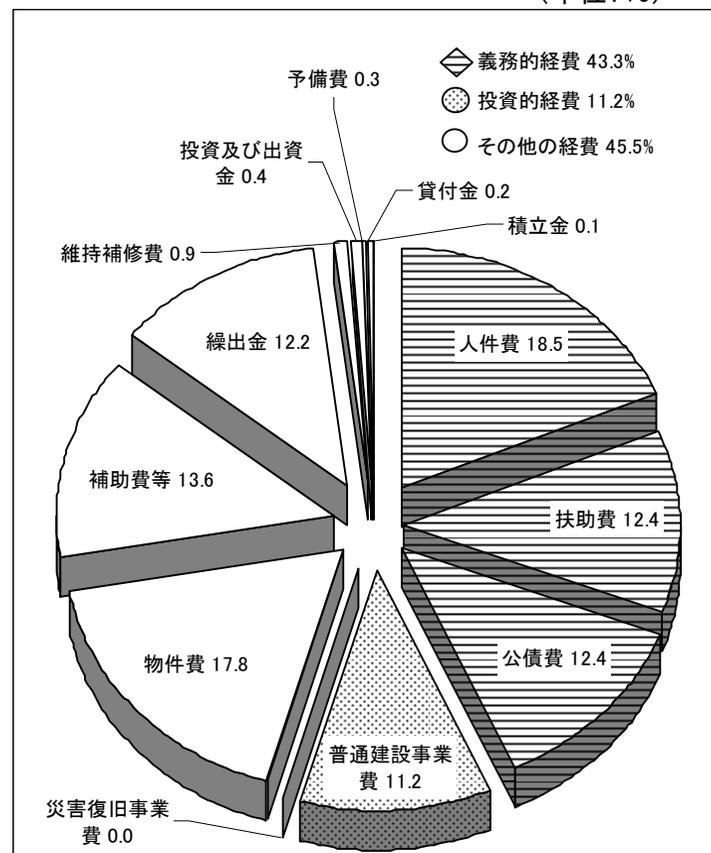
一般会計歳出予算構成《性質別》

(単位:千円・%)

区分	24年度		23年度	比較	伸率
	A	構成比			
◆ 人件費	6,424,287	18.5	6,344,490	79,797	1.3
○ 物件費	6,190,776	17.8	6,184,225	6,551	0.1
○ 維持補修費	332,111	0.9	237,683	94,428	39.7
◆ 扶助費	4,310,887	12.4	4,694,908	△ 384,021	△ 8.2
○ 補助費等	4,708,663	13.6	4,314,771	393,892	9.1
● 普通建設事業費	3,873,390	11.2	4,044,417	△ 171,027	△ 4.2
● 災害復旧事業費	4	0.0	4	0	0.0
◆ 公債費	4,305,600	12.4	4,409,088	△ 103,488	△ 2.3
○ 積立金	22,599	0.1	11,731	10,868	92.6
○ 投資及び出資金	124,543	0.4	45,146	79,397	175.9
○ 貸付金	84,000	0.2	85,200	△ 1,200	△ 1.4
○ 繰出金	4,223,140	12.2	4,128,337	94,803	2.3
○ 予備費	100,000	0.3	100,000	0	0.0
歳出合計	34,700,000	100.0	34,600,000	100,000	0.3

◆ 義務的経費	15,040,774	43.3	15,448,486	△ 407,712	△ 2.6
● 投資的経費	3,873,394	11.2	4,044,421	△ 171,027	△ 4.2
○ その他の経費	15,785,832	45.5	15,107,093	678,739	4.5

(単位: %)





基金の状況

(単位:千円)

区 分	年 度		23年度		24年度		24年度末	
	22年度末 現在高	23年度 積立	取崩	23年度末 見込	積立	取崩	見込	
	A	B	C	D=A+B-C	E	F	G=D+E-F	
財政調整基金	2,286,653	1,059		2,287,712	4,532	400,000	1,892,244	
財政調整基金(新名神緑地管理分)	15,083		1,500	13,583		2,847	10,736	
減債基金	536,931			536,931			536,931	
福祉基金	181,088	260	62,740	118,608		40,000	78,608	
教育振興基金	419,120	861	39,100	380,881	952	179,817	202,016	
文化振興基金	171,299	829	36,965	135,163	338	10,845	124,656	
公共施設等整備基金	871,051	48,905	732,527	187,429	347	99,000	88,776	
住みよさと活気あふれるまちづくり基金	3,843,562	12,667		3,856,229	15,407		3,871,636	
あい甲賀ふるさと応援基金	3,146	2,054	1,710	3,490	13	3,219	284	
移譲施設整備基金	20,000	40,040	18,600	41,440	2	35,000	6,442	
コミュニティ推進基金	166,000	165,000	163,500	167,500		165,000	2,500	
その他特定目的基金	433,870	1,112	17,754	417,228	1,008	14,510	403,726	
合 計	8,947,803	272,787	1,074,396	8,146,194	22,599	950,238	7,218,555	
土地開発基金(現金)	143,246	257,462	45,862	354,846			354,846	

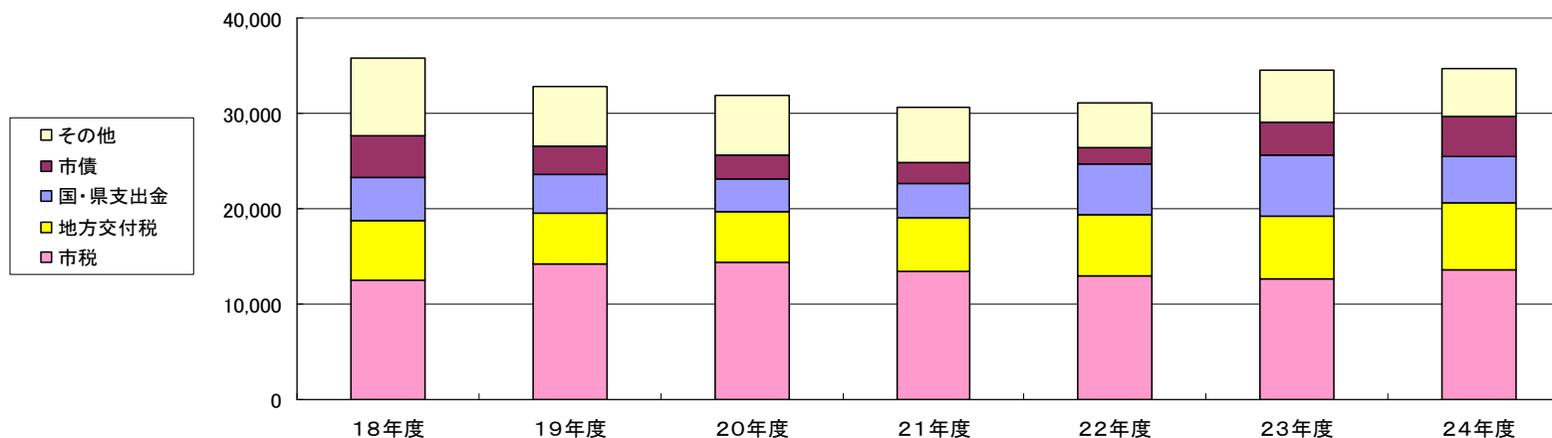


当初予算の推移(1)

◆歳入予算の推移

(単位:百万円)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
市税	12,512	14,224	14,412	13,407	12,917	12,640	13,518
地方交付税	6,200	5,320	5,220	5,690	6,400	6,550	7,050
国・県支出金	4,625	4,109	3,447	3,589	5,391	6,469	4,899
市債	4,259	2,922	2,494	2,200	1,642	3,339	4,196
うち臨時財政対策債	1,161	1,062	998	1,168	1,100	1,700	1,520
うち合併特例債	1,291	1,258	1,086	574	129	1,639	2,557
その他	8,204	6,175	6,377	5,714	4,800	5,602	5,037
歳入合計	35,800	32,750	31,950	30,600	31,150	34,600	34,700



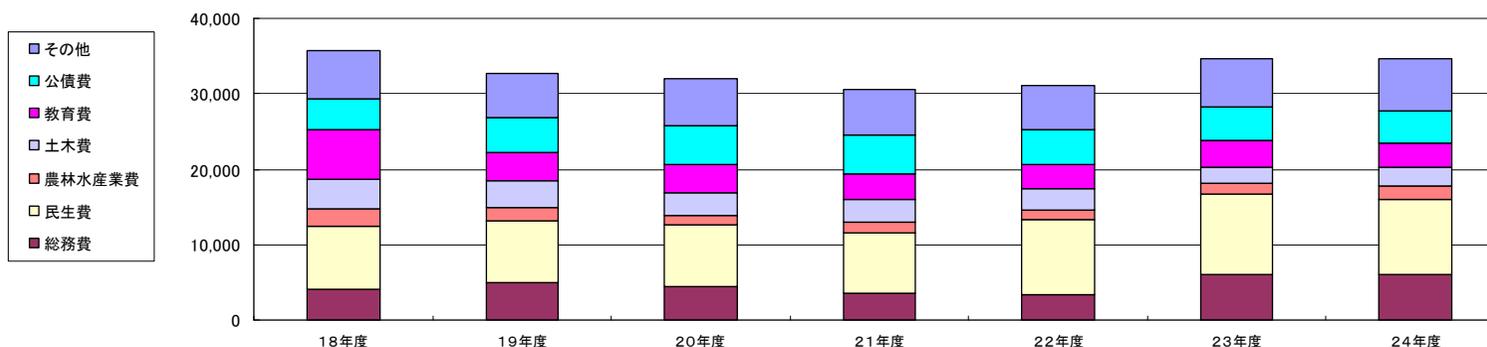


当初予算の推移(2)

◆歳出予算の推移《目的別》

(単位:百万円)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
議会費	267	272	270	271	241	324	298
総務費	4,136	4,972	4,421	3,478	3,465	6,013	6,007
民生費	8,380	8,113	8,114	8,149	9,788	10,656	10,008
衛生費	4,169	3,716	3,864	3,810	3,680	3,764	3,978
労働費	224	195	213	269	366	391	272
農林水産業費	2,182	1,891	1,405	1,367	1,314	1,451	1,792
商工費	356	370	489	465	354	292	397
土木費	3,938	3,444	2,876	2,952	2,775	2,193	2,387
消防費	1,328	1,279	1,239	1,201	1,207	1,494	1,840
教育費	6,640	3,796	3,775	3,351	3,305	3,513	3,315
災害復旧費	0	0	0	0	0	0	0
公債費	4,130	4,652	5,184	5,187	4,555	4,409	4,306
予備費	50	50	100	100	100	100	100
歳出合計	35,800	32,750	31,950	30,600	31,150	34,600	34,700



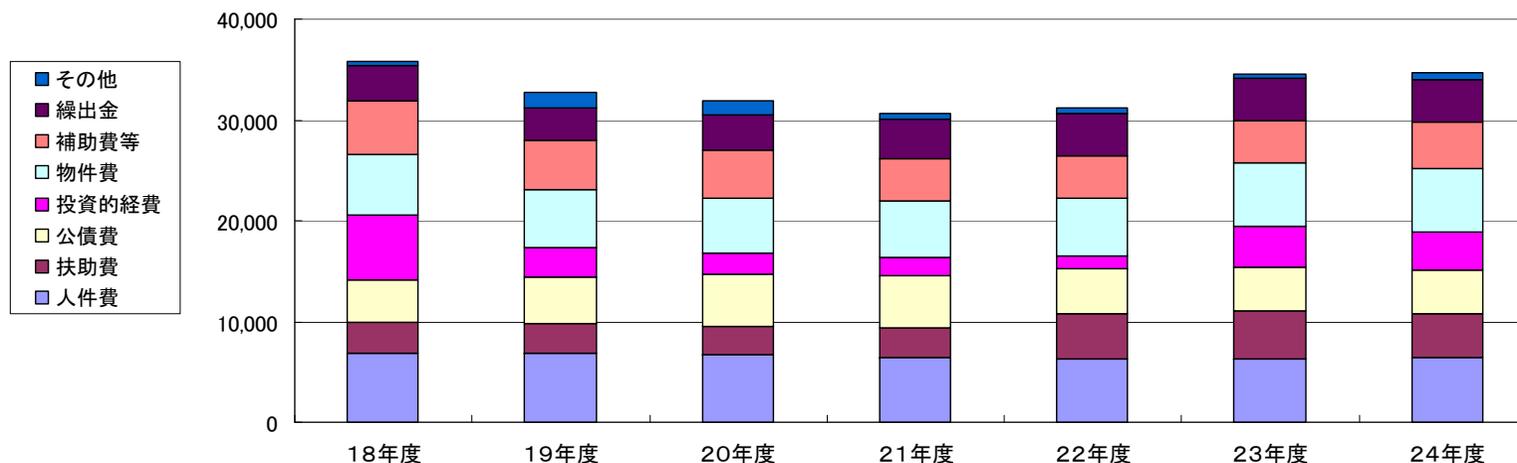


当初予算の推移(3)

◆歳出予算の推移《性質別》

(単位:百万円)

区分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
性質別	義務的経費	人件費	6,905	6,829	6,668	6,476	6,263	6,344	6,424
		扶助費	3,042	2,980	2,902	2,923	4,486	4,695	4,311
		公債費	4,130	4,652	5,184	5,187	4,555	4,409	4,306
	投資的経費		6,423	2,866	1,973	1,812	1,174	4,044	3,873
	その他の経費	物件費	6,041	5,710	5,450	5,491	5,706	6,184	6,191
		補助費等	5,354	5,002	4,879	4,220	4,236	4,315	4,709
		繰出金	3,461	3,171	3,471	3,928	4,178	4,128	4,223
		その他	444	1,540	1,423	563	552	481	663
	歳出合計		35,800	32,750	31,950	30,600	31,150	34,600	34,700





テーマ①

重点施策



大震災を教訓に、未来へ贈る安心と夢ある暮らし(1/8)

(1) 耐震化の着実な促進

安全を確保し安心して生活でき学べる環境を整備するため、耐震化の一層の促進を図ります。

拡充

小中学校耐震補強・大規模改造事業、保育園耐震診断事業

17,200千円(うち一般財源0千円)

耐震基準に満たない施設の耐震補強や老朽化した施設の大規模改造を行います。
甲南第二小学校と甲南中学校は改造工事のための設計を実施します。また、簡易耐震診断で耐震強度が不足している保育園において、耐震診断を実施します。

担当:教育総務課 電話0748-86-8018、こども未来課 電話0748-86-8179



テーマ①

重点施策



大震災を教訓に、未来へ贈る安心と夢ある暮らし(2/8)

(2) 自主防災組織の積極的な展開による地域防災力の強化

東日本大震災を機に高まった防災意識を実際の行動に結びつけ、地域防災を進めます。

新規 地域防災力向上事業

4,672千円(うち一般財源3,960千円)

地震や風水害により道路の寸断や通信の途絶による孤立集落が発生した際の救助活動を円滑に行うため、孤立の可能性のある集落に衛星携帯電話を配備します。また、地域における支援の必要な高齢者や障がい者で構成されている世帯を対象に、家具転倒防止器具などの購入や取り付けに対して補助します。

担当:危機管理課 電話0748-65-0665

拡充 自主防災総合補助事業

5,600千円(うち一般財源3,920千円)

東日本大震災や台風12号などを教訓として、市内全域での自主防災組織の設立が早期に達成できることを目指し、組織の立ち上げや活動に必要な発電機・投光器などの防災用品や資機材庫に対する自主防災総合補助金の予算枠の拡大を図ります。

担当:危機管理課 電話0748-65-0665



テーマ①

重点施策



大震災を教訓に、未来へ贈る安心と夢ある暮らし(3/8)

(3) 的確・迅速な情報提供などによる災害被害の軽減

災害のリスクに関する情報や、災害発生時の応急対応に必要な情報を、誰もが瞬時に共有できる環境を整備します。

拡充 地域情報化基盤整備事業

1,899,842千円(うち一般財源198,492千円)

お知らせや緊急情報などを、誰もが等しく知ることができ、安全・安心のサービスの充実、発展のため、インターネットやテレビ放送、音声告知放送を市内全域で利用できる光網の整備を行います。

担当: 情報基盤整備推進室 電話0748-65-0658

新規 外国人住民のための防災ガイド作成事業

300千円(うち一般財源300千円)

災害時における行政や消防等の緊急連絡先や応急対応の方法、日本語での言い方がわからず困った時に必要な表現方法を多言語(5ヶ国語)で掲載した携帯ガイドを作成します。

担当: 地域コミュニティ推進室 電話0748-65-0687

新規 避難誘導標識等整備事業

14,000千円(うち一般財源13,471千円)

大規模災害発生時における避難施設への住民の避難行動が安全かつ円滑に行われるための誘導標識の整備を図るとともに、日頃の防災意識を高めいただくための防災マップを作成し、市内各家庭へ配布するとともに、デジタル化によるホームページでの配信を行います。

担当: 危機管理課 電話0748-65-0665



テーマ①

重点施策



大震災を教訓に、未来へ贈る安心と夢ある暮らし(4/8)

(4) 災害に強い基盤の整備

災害発生時でも市民の暮らしを確保するため、道路や河川、砂防等の社会資本を効率的・効果的に整備し、災害に強いインフラ等の基盤を整備します。

新規 (仮称)水口北部地域防災コミュニティセンター整備事業

494,255千円(うち一般財源31,255千円)

水口北部地域のコミュニティ活動を推進するとともに災害時の広域避難所となるよう防災機能も兼ね備えた施設整備を行います。 鉄骨・鉄筋コンクリート造 (事務・会議部分) 1階建て 延床面積 460㎡
(体育館・避難部分) 1階建て 延床面積 939㎡

担当:危機管理課 電話0748-65-0665

新規 水口体育館・防災コミュニティセンター整備基本構想策定等業務

13,500千円(うち一般財源0千円)

利用者の安全を確保するため頻りに雨漏れをしている水口体育館に防水工事を実施するとともに、非常時に避難所としての機能が十分果たせるよう、隣接する施設を含めた整備基本構想を策定します。

担当:文化スポーツ振興課 電話0748-86-8023



テーマ①

重点施策



大震災を教訓に、未来へ贈る安心と夢ある暮らし(5/8)

新規 体育館耐震事業

15,000千円(うち一般財源1,000千円)

平常時の安全を確保することはもとより、非常時の避難所として安全に利用できるよう市立体育館の耐震診断や耐震設計を行います。(耐震診断)甲賀体育館、甲南体育館、信楽体育館 (耐震設計)甲賀中央公園体育館

担当:文化スポーツ振興課 電話0748-86-8023、建設管理課 電話0748-65-0720

拡充 甲賀市庁舎改修整備事業

61,373千円(うち一般財源373千円)

水口庁舎は新耐震基準では強度不足となり、地震に対して危険性の高い状態です。東日本大震災の実情を見てもわかるように、本庁舎は高い耐震性を確保し、防災拠点として機能しつづけなければなりません。また、現在の庁舎は、市民の利用の多い部門が分散し分かりにくく、プライバシーに配慮した相談室の不足やバリアフリーへの対応、施設等の老朽化など多くの課題を抱え、本庁舎としての機能を果たすには限界にきています。有識者、市民団体の代表者などで構成する検討委員会でまとめられた基本構想を踏まえ、市民の安全・安心を守り、人にも環境にもやさしい、開かれた庁舎をめざして検討を進めます。

担当:公有財産管理室 電話0748-65-0677



テーマ①

重点施策



大震災を教訓に、未来へ贈る安心と夢ある暮らし(6/8)

新規 防災備蓄倉庫等整備事業

13,000千円(うち一般財源8,300千円)

大規模災害発生時の救助や避難支援に必要となる食糧、生活物資、救助用資機材等の市内での均衡配備を図るため、備蓄物資の充実とともに未整備地域への防災備蓄倉庫の新設を行います。(甲賀地域3箇所を予定)

担当:危機管理課 電話0748-65-0665



新規 橋りょう長寿命化修繕計画策定業務

10,000千円(うち一般財源4,500千円)

今後増大が見込まれる橋りょうの修繕・架替えに要する経費のコスト縮減を図り、市民が安全に安心して利用できる道路機能の確保に向け、橋りょうの長寿命化を図るための修繕計画を策定します。

担当:建設管理課 電話0748-65-0722



テーマ①

重点施策



大震災を教訓に、未来へ贈る安心と夢ある暮らし(7/8)

新規 隠岐地区急傾斜地崩壊対策事業

6,000千円(うち一般財源6,000千円)

隠岐5号急傾斜地崩壊危険区域内にある集会所は、「甲賀市地域防災計画」で第1次避難所に指定されていることから、土砂災害発生時の区民の方の安全を確保するために急傾斜地崩壊対策事業を実施します。

担当:建設事業課 電話0748-65-0723

(5) 大規模災害に対する備え

東海、東南海、南海地震の三連動型地震や、集中豪雨・土砂災害を想定し、被害を最小限に抑えるための対策を推進します。

新規 防災アセスメント調査業務委託(地震等影響評価調査)

5,000千円(うち一般財源5,000千円)

東日本大震災を教訓として、新たな東海・東南海・南海地震の三連動による発生や水害・土砂災害との複合災害も予測した被害の影響評価を行い、市の防災対策の充実を図ります。

担当:危機管理課 電話0748-65-0665



テーマ①

重点施策



大震災を教訓に、未来へ贈る安心と夢ある暮らし(8/8)

(6) その他

新規 自動体外式除細動器 (AED) 設置事業

13,600千円(うち一般財源13,300千円)

平成24年度から三ヶ年で、現在自動体外式除細動器(AED)が未設置である公共施設に、心臓突然死のリスクを考慮してAEDの設置を進めます。(平成24年度の設置:45箇所)

担当:危機管理課 電話0748-65-0665



新規 セーフコミュニティ研究調査事業

734千円(うち一般財源734千円)

市の事業執行の安全管理体制を更に高めるとともに、その取り組みを市民にご賛同いただき、地域全体の安全・安心の輪に広げていくため、WHOセーフコミュニティ協働センターが認証する「セーフコミュニティ」取得を目指し研究と調査を行います。

担当:危機管理課 電話0748-65-0665



テーマ②

重点施策



すべての世代、みんなで育むきずなと元気 (1/4)

新規 われら地域見守り隊 移動販売事業

300千円(うち一般財源300千円)

甲賀圏域にある障がい者支援施設が連携し、買物難民や独居高齢者等向けに車を連ねて移動販売を行う移動商店街事業を行います。また、障がい者がその地域の中で高齢者などの話し相手や安否確認を行い、地域住民の交流の場作りにも寄与することができ、移動販売と買物支援も行い高齢者などの買物難民に対する支援を行います。

担当: 社会福祉課 電話0748-65-0702

新規 3歳児教育事業

5,581千円(うち一般財源2,791千円)

3歳児からの幼稚園入園を希望する保護者が年々増加してきたことと、子どもの人間形成の基礎が培われる重要な時期であることから、伴谷、土山、大原、油日、信楽の市内公立幼稚園5園すべてで、3歳児教育を実施します。

担当: こども未来課 電話0748-86-8179

新規 高齢者・障がい者安心生活支援事業

814千円(うち一般財源314千円)

ひとり暮らし高齢者、高齢者だけの世帯や障がい者世帯の方々が、電球の交換、ごみ出し、部屋のかたづけ、通院・買い物の付き添い、市役所などへの申請の届出、公共料金の支払いなどの軽易なことでも、シルバー人材センターから人材を派遣し、その人に代わって行う安心生活支援事業を実施します。

担当: 長寿福祉課 電話0748-65-0696



テーマ②

重点施策



すべての世代、みんなで育むきずなと元気 (2/4)

新規 学校ホームページ開設事業

3,000千円(うち一般財源3,000千円)

学校に関わる多くの情報を速やかに発信できるよう、市内全ての小中学校のホームページを開設します。

担当 学校教育課 電話 0748-86-8020

新規 小学校合同交流学習事業

1,000千円(うち一般財源1,000千円)

互いに仲間意識を高め切磋琢磨し合えるよう、近隣の複数小学校の児童が学年単位で集まり教科学習や体験活動に共に取り組みます。

担当 学校教育課 電話 0748-86-8020

拡充 保育園エアコン設置事業

8,000千円(うち一般財源0千円)

猛暑・酷暑からの熱中症対策として、園児が安心して過ごせるよう冷房機器が未整備の市立保育園にエアコンを設置します。

担当:こども未来課 電話0748-86-8179

拡充 児童家庭相談援助事業

2,244千円(うち一般財源2,244千円)

家庭相談員を増員し、育児不安や子育て負担の軽減につながるよう相談や支援の体制の充実を図り、子どもが健全に育つことができる地域づくりを進めます。

担当:社会福祉課 電話0748-65-0660



テーマ②

重点施策



すべての世代、みんなで育むきずなと元気 (3/4)

拡充 一時預かり保育事業

11,879千円(うち一般財源1,824千円)

ブックスタート事業を通じて、保護者に無料利用券(半日券×2枚)を配布し、育児疲れや育児不安を抱えた保護者が無料利用券を活用して、一時預かりを必要なときに利用できるようにします。

担当:こども未来課 電話0748-86-8179

拡充 中学生通院医療費助成

550千円(うち一般財源550千円)

子どもから大人へと体に変化していく成長期に、必要なときに必要な医療を受けることができる環境整備を図るため、低所得者層の家計負担を軽減することを目的に、非課税世帯への通院助成を小学生から中学生にまで拡大し助成します。

担当:保険年金課 電話0748-65-0689

新規 本人通知制度導入事業

5,000千円(うち一般財源5,000千円)

事前に申し込みのあった方に対し、自分の戸籍などの証明書が第三者に交付されたことを通知する制度を整え、不正請求の防止・抑止を図り、不正を許さない体制をつくります。

担当:市民課 電話0748-65-0683



テーマ②

重点施策



すべての世代、みんなで育むきずなと元気 (4/4)

新規 こうか盛人(せいじん)のつどい

1,100千円(うち一般財源0千円)

高齢者が持つ豊富な知識・経験・技術を生かして身近な地域のまちづくりや後輩の育成・指導に活躍していただくとともに、自らが充実した豊かな人生を過ごすためのきっかけづくりとして記念講演や市民団体の発表による「つどい」を開催します。

担当: 社会教育課 電話0748-86-8021、長寿福祉課 電話0748-65-0696

新規 公園施設長寿命化計画策定業務

7,000千円(うち一般財源7,000千円)

不特定多数の市民等が利用する、都市公園施設の老朽化に伴う修繕計画を策定し、誰もが安全に安心して利用できるよう施設の長寿命化を図り、長期的なコスト削減を図ります。

担当: 建設管理課 電話0748-65-0720



民間賃貸住宅家賃補助事業

4,800千円(うち一般財源4,800千円)

民間賃貸住宅に入居する市営住宅入居申込資格に該当する方に平成26年度までに限り、予算の範囲内において2年間の家賃の1/2(1ヶ月あたり上限20千円)を補助します。

担当: 住宅建築課 電話0748-65-0609



テーマ③

重点施策



心をつなぎ、みんなで高める地域愛 (1/2)

新規

(仮称)市民活動・ボランティアセンター設置運営事業

8,248千円(うち一般財源8,248千円)

区・自治会、自治振興会といった地縁型の市民活動団体やNPO、各種団体などテーマ型の市民活動団体を対象に活動支援を行ったり、ボランティアのコーディネートを行う『(仮称)市民活動・ボランティアセンター』を市民福祉活動センター内に開設します。

担当: 地域コミュニティ推進室 電話0748-65-0687

新規

地域情報化基盤整備推進事業(地域商業活性化共同事業補助)

2,000千円(うち一般財源2,000千円)

市が整備する地域情報基盤を活用して、商店街など市内商業者が共同で取り組む買物支援サービス共同事業の、立ち上げにかかる初年度の初期費用に対し経費の一部を補助します。

担当: 商工政策課 電話0748-65-0709



KokaCity 



テーマ③

重点施策



心をつなぎ、みんなで高める地域愛 (2/2)

新規

こうかの人材力活性化事業(甲賀の守人塾)

もりびとじゅく

1,180千円(うち一般財源1,180千円)

市民一人ひとりが大切な人材です。その市民(「甲賀の^{もりびと}守人」)が主体となって生活上の様々な課題解決ができるよう、市民や市職員を対象に地域人材の活性化に取り組みます。

担当: 地域コミュニティ推進室 電話0748-65-0687

新規

自治振興会地域課題解決型事業

1,000千円(うち一般財源600千円)

既設の自治振興交付金に加え、新たな財源を確保できる制度を創設します。
地域課題の解決に向けて、地域だけで取り組むことが困難な事業について、公募により採択を受けた自治振興会が市と協働モデル事業に取り組むことにより課題の迅速な解決と自治の推進を促します。

担当: 地域コミュニティ推進室 電話0748-65-0687



テーマ④

重点施策



甲賀発、匠の技と大地の恵み (1/4)

拡充 甲賀の茶生産振興事業

6,700千円(うち一般財源6,700千円)

高級茶の生産拡大を図るため、かぶせ茶などの生産農家を支援します。また、市内の小学校で甲賀のお茶に親しんでもらうことで、地産地消を促進しリーフ茶の消費拡大を図ります。

担当: 農業振興課 電話0748-65-0711

拡充 甲賀野菜生産拡大推進事業

2,200千円(うち一般財源2,200千円)

甲賀野菜の生産拡大を図るため、市指定野菜のかぼちゃ・ねぎ・にんじん・ほうれんそう・トマト・かぶを生産する農家を支援します。また、甲賀野菜のロゴマークを活用し、生産拡大した甲賀市産野菜を「甲賀野菜」としてブランド化に努めます。

担当: 農業振興課 電話0748-65-0711



拡充 米の消費拡大推進事業

5,512千円(うち一般財源5,512千円)

学校給食に甲賀市産米の米粉パンを提供することで米の消費拡大を図ります。また、すべての米飯給食の米を甲賀市産米にすることで地産地消を促進します。

担当: 農業振興課 電話0748-65-0711



テーマ④

重点施策



甲賀発、匠の技と大地の恵み (2/4)

緊急経済対策住宅リフォーム促進事業補助

54,519千円(うち一般財源50,000千円)

東日本大震災の影響により企業の設備投資や消費行動が縮小し、急激な地域経済の悪化が懸念される中であって、地域経済の活性化および技術の伝承、雇用の安定に寄与するために、市民が自己の居住する住宅を市内の施工業者を利用して修繕、補修等の住宅リフォーム工事を行う場合に、その経費の一部を補助します。 担当:商工政策課 電話0748-65-0709

拡充

商工業活性化支援事業(地域特産品開発事業補助)

3,000千円(うち一般財源3,000千円)

甲賀のイメージを発信できる、魅力ある商品開発を促すことを目的として、市内の商工業者が甲賀市の地域特産を活かした特産品の開発、販売促進などに要する経費に対して助成を行います。 担当:商工政策課 電話0748-65-0709

新規

地域商品券事業

6,000千円(うち一般財源6,000千円)

急激な地域経済の悪化が懸念される中であって、商工会が合併1周年を記念して発行するプレミアム商品券事業を支援することで、市内での消費拡大を進めると共に中小零細商店の活性化を図ります。

担当:商工政策課 電話0748-65-0709



テーマ④

重点施策



甲賀発、匠の技と大地の恵み (3/4)

新規

甲賀の特性を活かした地域エネルギー活用実証実験委託事業

1,000千円(うち一般財源1,000千円)

再生可能なエネルギーの活用への取り組みとして、地域エネルギー利用の実用に向けた実証実験を委託事業として公募します。市の特性を踏まえつつ、エネルギーの地産地消、また地域活性化や持続可能な視点から、資源をエネルギーに利用する技術の実証と活用を検証します。

担当:生活環境課 電話0748-65-0691

鳥獣侵入防護柵設置事業

153,000千円(うち一般財源3,000千円)

ニホンザル、イノシシ、ニホンジカなど野生動物による農作物への被害が年々拡大・深刻化している中、防護柵の設置などを推進し、農作物被害の軽減と農業経営の安定化を図ります。

担当:鳥獣害対策室 電話0748-65-0734



獣害に強い里づくり事業

3,000千円(うち一般財源3,000千円)

「集落環境点検」で明らかになった課題を解決する取り組みを集落が実施する場合にその経費の一部を助成し、獣害に強い里づくりを目指します。

担当:鳥獣害対策室 電話0748-65-0734





テーマ④

重点施策



甲賀発、匠の技と大地の恵み (4/4)

有害鳥獣捕獲事業

19,700千円(うち一般財源9,902千円)



ニホンジカは全国的に個体数が増加し、甲賀市においても3,000頭近く生息していると推定されています。ニホンジカの捕獲に適した狩猟期間にも報奨金制度を導入することで個体数調整を促進します。また、イノシシやニホンザルなどについても引き続き捕獲を推進していきます。

担当: 鳥獣害対策室 電話0748-65-0734

拡充 有害鳥獣捕獲推進事業

5,305千円(うち一般財源5,305千円)



狩猟免許の取得や銃器、わななどの法定猟具を購入する場合にその経費の一部を助成します。また、鳥獣防除指導員2名の防除体制で有害鳥獣捕獲の増進に努めます。

担当: 鳥獣害対策室 電話0748-65-0734

拡充 施業集約化促進対策事業(放置林防止・林道維持補修)

10,775千円(うち一般財源7,000千円)

森林の境界が不明確であることが主たる原因で、間伐等の適正な管理が行われない放置された森林が増えていることから、境界の明確化などの作業を積極的に進めます。また、市内林道については、日常管理の徹底を図ることで施業集約化(間伐などの作業地をまとめて効率化すること)の促進に努めます。

担当: 林業振興課 電話0748-65-0715



テーマ⑤

重点施策



歴史と自然でおもてなし、みんなで磨く甲賀の宝 (1/4)

新規 新名神高速道路活用戦略事業

1,200千円(うち一般財源1,200千円)

新名神高速道路活用戦略において、新名神高速道路の3つのICや土山SA、甲南PAの機能(利便性)の向上や、市内特産品の販路拡大や観光ルート作成など新名神を活用した「賑わい」づくりを展開します。その年次事業の一つとして、平成24年度には新名神高速道路開通記念事業を開催します。

担当:政策推進室 電話0748-65-0670

新規 道路案内標識整備事業

17,000千円(うち一般財源17,000千円)

市民をはじめ、新名神高速道路を利用して訪れる来訪者にも分かりやすい、各公共施設や観光ポイント・避難所へ誘導する道路案内標識の整備を行います。

担当:政策推進室 電話0748-65-0670

新規 こうかブランドの創設・発信事業

14,781千円(うち一般財源14,781千円)

平成23年度から「こうかブランドマネジメント会議」で実施しているこうかの名物創設事業や観光ルートの開発、アンテナショップの運営などを継続するとともに、新たに新名神高速道路や信楽高原鉄道などの公共交通機関との連携により甲賀市の観光施策展開の基礎となる、こうかブランドの創設とその発信事業に取り組みます。

担当:観光戦略推進室 電話0748-65-0708



拡充



テーマ⑤

重点施策



歴史と自然でおもてなし、みんなで磨く甲賀の宝(2/4)

新規

広域連携による国際観光客誘致事業

10,000千円(うち一般財源10,000千円)

拡充

海外からの旅行客の誘客を図るため、観光関連団体をはじめ商・工・農を含めた異業種間交流からの観光振興と国内外の観光エージェントへのPRの場として「観光ビジネスメッセ」を実施します。また、「忍者」をコンセプトとした伊賀市との広域連携事業により、地域の活性化を図るための取り組みを進めます。

担当: 観光戦略推進室 電話0748-65-0708

拡充

甲南IC・PA流出経路検討事業

10,000千円(うち一般財源10,000千円)

「甲南パーキングエリアからインターチェンジへ降りられない構造」となっていることから、新たなランプ道路の整備について、甲南PAから甲南ICへの流出経路を検討するため、道路の予備設計を行い、関係機関との協議を進めます。

担当: 建設事業課 電話0748-65-0723

新規

あいこうか「和歌(うた)」プロジェクト

500千円(うち一般財源500千円)

奈良時代に聖武天皇が造営した紫香樂宮跡とされる宮町遺跡から、万葉集と古今和歌集に収められている2つの和歌が記された木簡が発見されました。このことを受けて、現代の万葉集となるよう、甲賀の自然(甲賀八景など)や四季、人を勇気づけるうたや、大切な人への思いなどの詰まった「和歌(うた)」を広く募集します。

担当: 文化スポーツ振興課 電話0748-86-8023



テーマ⑤

重点施策



歴史と自然でおもてなし、みんなで磨く甲賀の宝 (3/4)

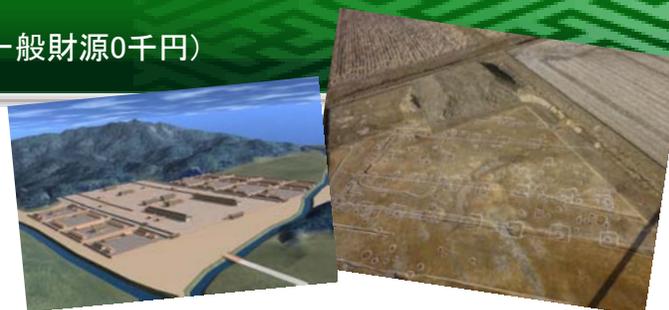
拡充

紫香楽宮跡整備活用基本計画策定事業

6,345千円(うち一般財源0千円)

聖武天皇の宮跡としての高い価値と知名度を持つ史跡紫香楽宮跡を対象に、その積極的な活用を図るための整備活用基本計画を策定します。

担当: 歴史文化財課 電話0748-86-8026



新規

東海道水口宿拠点施設整備事業(東海道のにぎわい再生検討事業)

1,500千円(うち一般財源1,500千円)

水口地域市民センター(中部コミュニティセンター)に併設し、東海道の西の玄関口となる東海道水口宿拠点施設の整備に向け設計を行います。

担当: 政策推進室 電話0748-65-0670

新規

(仮称) 甲賀市公共交通活性化まちづくり推進事業

6,800千円(うち一般財源6,800千円)

公共交通機関(鉄道・バスなど)を利用し、省エネルギーで暮らしやすく、環境に恵まれた都市構造へと変革するために、公共交通が活性化したまちづくりを推進する計画を、市民、公共交通事業者、市が協働して策定します。

担当: 政策推進室 電話0748-65-0672



テーマ⑤

重点施策



歴史と自然でおもてなし、みんなで磨く甲賀の宝 (4/4)

新規 信楽高原鐵道再生事業

5,000千円(うち一般財源5,000千円)

信楽高原鐵道の事故の解決を契機に、信楽高原鐵道の経営を安定化させ、事業継続させるための鐵道事業の再構築方法を検討した、(仮称)信楽高原鐵道地域公共交通新総合連携計画を策定します。

担当: 政策推進室 電話0748-65-0672

拡充 甲南駅周辺整備事業

48,000千円(うち一般財源10,000千円)

駅を交通拠点としたまちの活性化と利便性の向上を図るため、甲南駅舎の改築、自由通路・アクセス道路の整備に向け基本設計などを行います。

担当: 都市計画課 電話0748-65-0721



拡充 都市農村交流事業

393,300千円(うち一般財源16,725千円)

新名神高速道路の開通に伴い、都市部からの交通アクセスの向上という条件を活かし、中山間地域内において都市住民を対象に地域資源を活用した体験プログラムおよび宿泊が可能な体験交流滞在施設を整備します。

担当: 農業振興課 電話0748-65-0711



平成24年度の主な事業

特別会計・企業会計で実施する事業

新規

水口医療介護センターの開設

予算額 552,845千円

地域に求められる医療と介護の充実を図るため「みなくち診療所」と介護老人保健施設「ケアセンターささゆり」とが併設した『水口医療介護センター』を開設します。



担当:水口医療センター
電話0748-62-3366

拡充

地域包括ケアの推進

予算額 104,676千円

現在3箇所の地域包括支援センターを土山及び信楽地域にも設置し、高齢者が住みなれた地域で心身の健康の保持と安心してその人らしい生活が継続できるよう、地域包括ケアの推進を図ります。

担当:長寿福祉課 電話0748-65-0699

拡充

公共下水道整備事業

予算額 473,272千円

山地区、希望ヶ丘地区などの整備工事を行います。

担当:下水道建設課 電話0748-86-8347

拡充

農業集落排水整備事業

予算額 240,594千円

平成26年度の竣工を目指し、朝宮地区の整備工事を行います。

担当:下水道建設課 電話0748-86-8347



平成24年度の主な事業

一部事務組合で実施する事業

公立甲賀病院移転新築事業

9,478,408千円(うち当年度甲賀市負担額339,439千円)

平成25年春の開院に向けて、新病院の内外装仕上工事や、医療機器などの購入を行います。

- 建設地 甲賀市水口町松尾地先
- 主要建物の構造・面積
診療棟 3階建(鉄筋コンクリート造、免震構造)
病棟 5階建(" ")
- 病床数 413床
担当:公立甲賀病院 電話0748-62-0234



衛生センター設備の改修

180,790千円(うち当年度甲賀市負担額42,223千円)

ごみ処理施設の白煙防止用空気予熱器設備の改修や、し尿処理施設の水処理設備の整備を行います。

担当:甲賀広域行政組合
電話0748-62-0056



高規格救急自動車の更新

27,000千円(うち当年度甲賀市負担額1,765千円)

高規格救急自動車を更新し、信楽消防署に配備します。

担当:甲賀広域行政組合
電話0748-62-0056





協働事業

市民協働事業提案制度によって採択された事業を優先的に予算化して推進します。

広げよう・つなげよう 甲賀の子育て支援

(予算額 560千円)

子育てをする親が孤立しないように市内にある活動拠点で気軽に食事をしながらおしゃべりができるイベント・講座等開催し、これまでの支援に触れにくかった親子にも気軽に参加してもらえる機会を提供します。



今郷歴史街道整備事業

(予算額 640千円)

郷土に残る歴史的な史蹟や名所等が市民に知られていないことが多いため、史蹟の周辺整備や街道の環境整備、歴史的財産を次世代に残し伝えるための調査研究を行います。



市の花「ササユリ」の咲きほこる街づくり

(予算額 360千円)

市の花である「ササユリ」を活用し、他の地域と交流を深め、子どもからお年寄りまで世代を超えた市民参加を進めます。



自然豊かな里山で大人と小学生が

いっしょに体験する楽しい里山活動

(予算額 520千円)

復元した里山を活動の拠点とし、子どもから大人まで自然体験を通じて自然の中で遊ぶことの楽しさ、たくましさを育み、あわせて里山の魅力を感じることで他の地域でも里山づくりができるようアドバイスします。



子どもたちの生きる力応援事業

(予算額 300千円)

不登校やひきこもり状態の子どもたちに対して、楽しく参加できる居場所の設置や、親子学習会、ボランティア活動などを通じて家族への応援や復学へのサポートを行います。





ゼロ予算事業

特別な予算措置をすることなく、職員一人ひとりの積極的な創意工夫のもとで、技術・知識、資産、情報の最大限の活用や市民との協働・連携により、行政サービスの向上につながる取り組みを一層推進します。

①甲賀の魅力を探る

新 甲賀市統計ブック作成

- ・まち歩きツアー第2弾「東海道士山宿再発見ツアー」

新 地域資源を活用する学習プログラムの構築



②安全・安心なまちづくり

新 座談会「昔の災害について語り合う」事業 新 「家庭内防災備蓄推進キャンペーン」事業

- ・防災スクール事業
- ・保健師の安心子育て訪問
- ・高齢者見守り事業の拡大
- ・障害児とのふれ愛 みまもり隊
- ・市道の損傷を市職員をはじめとしたみんなでパトロール(みなパト)
- ・まちと水を見守る 水援隊事業

③市役所の技術・情報を届ける

新 納税掲示板

新 まちの保健室事業

新 「防ごうメタボ！受けよう健診！」啓発事業

- ・出前講座の充実

その他にも・・・

- ・小学校陸上記録会公開事業
- ・『元気なこうか』行政経営研究会設置による政策形成能力向上事業
- ・屋外広告物クリーンキャンペーン事業
- ・緑のカーテン事業



環境配慮事業

節電対策や省エネルギー化への取り組みによって地球温暖化対策の一層の推進を図るため、昨年度に引き続き環境配慮事業を推進します。

①電気使用量削減に関する取り組み

・防犯灯省エネルギー事業 【3,000千円】

防犯灯を低電力のLEDに変更することでCO₂の削減を図ります。

・公共施設の照明灯・非常誘導灯を高効率照明器具に変更 【5,869千円】

小学校、保育園、幼稚園、公民館などの照明灯・非常誘導灯をLEDに変更することでCO₂の削減を図ります。

・小中学校デマンドコントローラー整備事業 【4,000千円】

学校で活用している空調設備等にデマンドコントローラーを設置することにより、同時運転から発生する最大デマンド値を現況から10%を目標に節電し、併せて児童生徒に対する環境への意識の向上を図ります。

②公用車の適正利用に関する取り組み

・低公害車導入 【7,800千円】

年式の古い車4台を、ハイブリッド車を含む低公害車に更新します。



甲賀市の「ふるさと納税」について



「ふるさと納税」にご協力ください！

この制度は、『ふるさとのために何かしたい』『ふるさとを応援したい』『ふるさとを大事にしたい』という、全国のみなさんからの善意・厚意を、寄附という形にして『ふるさと』に伝えていこうとするものです。

また、「ふるさと」は「以前に住んでいた自治体」に限定されませんので、甲賀市出身の方はもちろんのこと、当市に関心や興味をお持ちで応援していただける方ならどなたでもこの制度を利用していただくことができます。

「ふるさと納税」制度を利用いただくと、**所得税と個人住民税の寄附金控除**が受けられます。

ご寄附を頂く際には“使い道”をご指定いただけます。

皆様からの寄附金は、甲賀市の総合計画に基づく将来像の実現に向けた重点的な取り組みに活用させていただきます。

○今までにいただいたご寄附と主な活用例

平成20年度	1, 160千円(5件)
平成21年度	2, 872千円(12件)
平成22年度	2, 393千円(15件)
平成23年度	2, 046千円(17件)(1月まで)

- 中学校のパソコン購入
- 小学校社会科副読本の作成
- 市内公共施設AED設置

...など

伊賀市・甲賀市連携 ナンバープレート



忍者と巻物をモチーフに、原動機付自転車のオリジナルナンバープレートを作りました。

右上と左下の忍者のラインで甲賀市の「こ」を、左右の巻物で伊賀市の「い」を現し、手裏剣を配置することで『忍者』を表現しています。

平成24年4月2日から
交付スタート！



こうからッピングバス

甲賀市のイメージを描いた新名神高速道路を運行する高速バス。

新大阪⇄四日市間を運行中！

